

令和5年度 脇町中学校学校評価アンケート（保護者）結果から

成果と課題

どの項目においても肯定的な回答が多くありました。いただいたご意見を真摯に受けとめ、今後も保護者の皆様と連携をとり、質の高い脇町中学校の教育活動の推進・充実に向け取り組んでまいります。

○項目1「お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。」については、15%の否定的な回答がありました。生徒も、生徒用アンケート項目1「学校に来るのが楽しい」で21%の否定的な回答がありました。そこで、来年度は、脇町小学校で取り組んでいる「ポジティブ行動支援」を本校でも取り入れ、生徒が、学校に来るとできることが増えて楽しいと思える学校づくりを進めていきたいと考えています。

○項目3「お子さんは、家庭で復習や宿題に取り組んでいる。」、項目4「お子さんは、家庭で手伝いをしている。」、項目6「お子さんと学校のことについてよく話をする。」については、25%以上の以上の否定的な回答がありました。「子どもは、ほめられるとうれしく、頑張ろうとします。」お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭でぜひお話しをしてみてください。お子様の頑張っているところや、よいところを認めてあげて、声をかけることを大切にしていただければと思います。

○項目7「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。」については、93%の肯定的な回答があり、昨年度より増加しています。今年度は、生徒がアイデアを出し合い人権CMを作成したり、人権集会や学活、道徳、総合的な学習等での話し合いを多く取り入れたりすることにより、生徒が主体となって差別をなくす態度を育てる取組を行いました。今後も、生徒が主体的に取り組む人権学習を推進することにより、差別を絶対に許さず人権を尊重する社会の一員として行動できる力を育てていきたいと考えています。

○項目9「学校は、学級や学校の様子を各種たよりや、ホームページ等で家庭へ知らせている。」については、87%の肯定的な回答がありました。従来からの「紙による便りやお知らせ」と、ホームページやさくら連絡網等のデジタル配信を有効的に組み合わせでの配信に取り組んでいます。今後も保護者の方に有効な情報の発信に努めてまいりますので、ご覧くださいますようお願いいたします。

○項目10「学校は、子ども・保護者・地域の意見や要望に応え、改善に活かそうとしている。」については、85%の肯定的な回答がありました。今年度は、生徒が中心となってスクールマナーの変更に取り組みました。来年度は、生徒会や学級会での話し合い活動を充実することや、今回の学校評価アンケートの結果を検証し改善を図ること、今年度から本格的始まったコミュニティスクールでの「脇町中学校区学校運営協議会」委員の方からのご意見を学校づくりに反映することにより、「安心安全で魅力ある学校」、「地域とともにある学校」をつくってまいります。

令和5年度 脇町中学校学校評価アンケート（生徒）結果から

成果と課題

どの項目においても肯定的な回答が多く見うけられました。今後も、生徒の思いを大切にしながら、主体性を育てる学校づくりに取り組んでまいります。

○項目5「わからないことがあれば、先生に聞いたり、自分で調べたりした。」については、29%の否定的な回答がありました。そこで、生徒が自ら探究していく課題を与えたり、生徒用タブレットPCに入っている「スタディサプリ」の活用を進めたりして、生徒が主体的に学ぶ教育の充実を図っていきたいと考えます。

○項目6「相手の気持ちを考えて、まわりの人と生活できた。」、項目8「命の大切さや人権を大切にすることについて学ぶことができた。」については、90%を超える生徒が肯定的な回答をしています。今年度は、様々な人権課題についてゲストティーチャーを招いて学習をしたり、行事等でも人権をテーマにして取り組んだりしてきました。生徒は、真剣に人権学習に取り組み、自分も周りの人も大切にできる心が確実に育ってきています。

○項目7「自分やまわりの友達が困っていることを、先生やお家の人など、大人に相談することができた。」については、否定的な回答が27%ありました。生活アンケートの回数や内容を改善することや、生徒が先生に相談しやすい関係を築ける取組を行うとともに、保護者方との連携を密にしていきたいと考えます。

○項目10「学校行事などに、友達と協力して取り組むことができた。」については、94%が肯定的な回答をしており、昨年度より増加しています。生徒が楽しみにしている様々な行事を通して、脇中生同士の輪が深まったり、人間的な成長につながったりするように取り組んでいきたいと考えます。

○項目11「委員会活動や学級の係の仕事など、自分がしなければいけないことができた。」については、97%が肯定的な回答をしており、多くの生徒に、集団の一員として、自分の役割を果たそうとする責任感があることが表れています。この気持ちを大切に、生徒自身が人のために行動することで、自己有用感をもつことができる取組を進めてまいります。

○項目12「部活動に積極的に取り組んだ。」については、97%が肯定的な回答をしており、昨年度より10%増加しています。全国的に部活動地域移行が進められているため、来年度以降の部活動のあり方については、関係機関や保護者の方々と連携を密に取りながら、検討していきたいと考えています。

○項目13「将来の夢や働き方について考えた。」については、昨年度より肯定的な回答が8%増えています。今年度は、コロナ禍で中止になっていた職業体験等の行事を再開したり、市からの補助金を活用して様々な分野で活躍している方をお招きして話を聴いたり、交流したりすることで、キャリア教育を充実することができ、生徒が自身の生き方について前向きに考える機会を増やすことができました。